

そうだ、
きさいち
植物園
に行こう！

Let's go to Kisaichi
Botanical Garden

牧野富太郎の植物図から

約1500種以上の植物を発見・命名し、「日本の植物分類学の父」と呼ばれる^{まさのとみたろう}牧野富太郎博士。現在放映中のドラマの主人公のモデルであり、鋭い洞察力と緻密な描写で植物を正確に写生しています。今年度は、博士の描いた植物図と当園に咲く実物を見比べてみます。



コウホネ

分類:スイレン科コウホネ属
夏期:5月~9月

湖沼、河川等に生育する多年草。葉は水上葉と水中葉がある。水底の沼の中に、横にはう白く太い地下茎があり、これが由来となって「河骨」と呼ばれるようになった。根茎は止血剤や強壮剤として使用される。植物園では、ヒメコウホネやネムロコウホネ、サイコクヒメコウホネ等の希少種も保有している。

牧野富太郎肖像画・植物図:高知県立牧野植物園提供



かたの市民デー

入園料
駐車料
無料

交野市外にお住まいの人は入園できません。

日時 7/24(月)9:30~16:30(16:00最終入園)

持ち物 住所が記載された公的証明書(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等)

ハンカチ藍染体験

時間 10:00~12:00
(9:30から参加整理券配布。雨天中止。)

定員 20人(先着)
持ち物 ゴム手袋、長靴、汚れても良い服装またはエプロン(簡易なものは用意しています)

参加費 200円(ハンカチ代)

イベント情報

7/8(土)・9(日)早朝特別開園 美しく開花するハナハスを観察しよう

8/2(水)森のサマースクール 小学3~6年生対象 要申込

詳細は当園ホームページをご覧ください。

大阪公立大学附属植物園(愛称:きさいち植物園)

☎891-2059 交野市私市2000(私市駅徒歩6分) HP <https://www.omu.ac.jp/bg/>

開園時間 9:30~16:30(入園は16:00まで)

休園日 月曜日(祝休日の場合は開園)

入園料 大人350円/大阪府在住で65歳以上の人150円(住所と年齢が分かる公的証明書提示が必要)中学生以下無料

駐車料 普通車500円/マイクロ1,000円



LET'S GO

交野に残る 家康の足跡



おだのぶなが とよとみひでよし
織田信長、豊臣秀吉と並ぶ三英傑
の1人、徳川家康。交野市は家康の
人生に度々かかわっており、今も史跡
が残っています。家康ゆかりの地ととも
に交野市とのつながりを紹介します。

秀吉の治世と太閤検地

家康が伊賀越えを成功させた一方で、^{はしは}羽柴(後に^{とよとみ}豊臣)^{ひでよし}秀吉はいち早く^{あけちみつひで}明智光秀を山崎の戦いで破り、家康をも従えて天下統一を進めました。

秀吉の施策として有名なのが、全国の土地を調査し課税の基礎とした「太閤検地」です。現在の交野市域でも文禄3年(1594)に検地が行われました。この際の検地帳は、星田のものが残っており、概要を掲載した交野町史によれば、厳しい税に交野の人々も苦しんだのではないかとみられています。

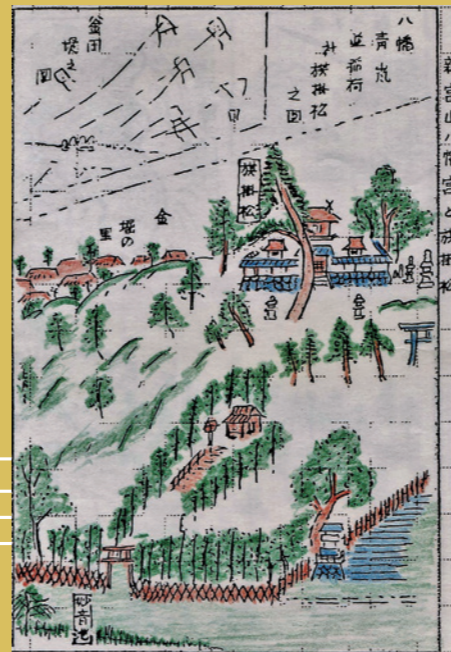


文禄三年星田村検地帳(片山長三撮影)

秀吉配下の交野の領主

この時代の交野では、豊臣家の意向に沿って新たに領主が置かれています。星田には美濃出身で元・織田家家臣^{いちしながとし}の市橋長利が領主となりました。

伊賀越えで家康を助けたという星田の平井家も、この頃に市橋家に仕えることになりました。星田の市橋家と平井家の存在は、秀吉の死後に豊臣家を倒そうとした家康を助けることになるのです。



江戸時代に描かれた新宮山(星田名所記)